



国土交通大臣賞

第32回全国街路事業コンクール

小田急小田原線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）連続立体交差事業

東京都建設局道路建設部

事業概要

本事業は、小田急電鉄小田原線の代々木上原駅付近から梅ヶ丘駅付近までを地下式で連続立体交差化するとともに、東北沢駅付近から梅ヶ丘駅付近までを複々線化したものである。9か所の踏切を除却したことで、渋滞解消、自動車の走行速度向上につながった。また、地下化された上部では歩行者空間の整備による回遊性が向上しており、今後も様々な施設の立地が計画されている。

表彰理由

東京の既成市街地を南北に分断していた鉄道路線を複々線地下化して、踏切渋滞・事故・騒音・排気ガスの改善など沿線市街地の安全性・利便性・快適性を抜本的に向上させた大事業であり、東京の基幹的交通軸として大きな役割を果たすことが期待される。

また、長期間の地下化工事であったが、地元との連絡調整会議開催・駅へのインフォメーションセンター設置・工事情報誌の発行・見学会の開催など、地域の意見への配慮や情報提供に積極的に取り組み、円滑な事業進捗に努めてきた。

さらに、地上部の活用についても、まちづくりの一環として様々な主体を巻き込み取り組んできた点も、街路事業におけるお手本となるものとして、非常に高く評価された。

事業延長：約2.2Km

事業費：約1,653億円

事業期間：平成16年度～平成30年度